



野 企 第 1 号
令和2年1月10日

野洲市議会 保守協商
協商長 長谷川 崇朗 様

野洲市長 山仲 善彰



2020年度野洲市予算政策に関する要望書について（回答）

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年11月14日付で要望のあった標題の件について、別添のとおり回答
します。

市民の方へのサービスの充実のため、難聴や耳の聞こえにくい方を含むすべての方が対応するのに困らない窓口をつくることを検討いただきたいです。特に窓口でプライバシーに関わる話はしづらと思いますので、そうした配慮ができる体制をとってほしいと思います。

(回答)

難聴等により、聞き取りにくいとおっしゃられる方については、通常よりも大きな声で端的な説明を心掛けるとともに、より聞き取りにくい方については、職員との筆談により対応し、また、手話通訳が必要な方については、手話通訳員が対応するなどの配慮に努めています。

ただし、プライバシーに関わる内容である場合は、窓口での対応ではなく、別室で対応するよう配慮しています。

【所管部：健康福祉部】

市が伝えたいことを伝え、市民の声を聞く意味で、外向き、内向きの広報広聴戦略の明文化が必要と考えています。それにともない、市の広報や、議会だよりのカラー化や紙面の充実、SNS など媒体の追加が必要と考え、要望します。

(回答)

現状の白黒紙面で問題なく、経費の増額が必要となるカラー紙面への変更は考えていません。SNS など他の手段を活用した広報公聴は、今後、その効果等を検証した上で検討していきます。

市民に開かれた議会の実現に向けて、議会への関心を高めるため、議会だよりを表紙・裏表紙を2色刷りとし、読みやすく、わかりやすい紙面に努めています。

また、SNS などの媒体の追加については、議会だよりの編集委員会等での議論を踏まえて検討していきます。

【所管部：政策調整部・議会事務局】

デリケートな案件である、別居や離婚調停など児童手当や各種手当に対する認定の調査等では慎重な対応が求められます。育てる親に子どものための手当がきちんといくための調査を個々のケースにあわせ対応することが必要で、それに伴う予算を要望します。

(回答)

児童手当や各種手当の支給に際しては、法令や各事務取扱要領等に基づき事務を行っています。

その事務の中で調査・確認が必要な場合においては、厚生労働省の「児童扶養手当の事務運営におけるプライバシーの保護に配慮した事実婚の支給要件の確認方法に関する留意事項について」（令和元年9月30日付 子家発 0930 第1号）の通知に基づき調査・確認を行っており、デリケートな案件についてもプライバシーに十分配慮しながら適正な認定・支給となるよう取り組んでいます。

これら調査・認定等については職員が行うこととしているため、調査のための予算を計上する予定はありません。

【所管部：健康福祉部】

総合計画の策定にあたり、市民参加での対話を十分にとりいれたプロセスを踏んでいくことがこれからの市の発展に必要なだと考えます。ですので、そのためのワークショップやタウンミーティングなど市民参加にともなう経費を予算としてしっかり経常していただきたいです。

(回答)

第2次野洲市総合計画の策定にあたっての市民との意見交換については複数回実施する予定をしています。

【所管部：政策調整部】

平成30年2月26日の国交省のサウンディングから事実上中断している野洲駅南口周辺整備事業における交流商業施設整備計画の再開を要望します。市の説明では住民監査請求や住民訴訟の提起により不可能な状況であるとのことでしたが、令和元年7月市立野洲病院の開院を無事に向かえ懸念の一つが解消できたことから、当初の予定通り独立行政法人野洲市民病院の開院同時の開業に向け、具体的な行動に移行していただきたいです。

(回答)

交流／商業施設に関しては、民間からの提案もありましたが、病院整備が遅れたため、まずは市民病院と駐車場整備を先行しています。

【所管部：政策調整部】

市民、学生に学習スペース（自習室）を提供していただきたいです。何度も要望させていただいていますが、家庭で整えるべきとか、補充学習での対応との回答となっており、学習スペースの提供は考えていないと回答いただいております。しかしながら、学習スペースの重要性というのは、学習意欲がある市民、学生が自己の環境において、集中できないとき、気分転換に場を変えたい時など、気軽に使うことのできる環境ということで、市民に資すべきものと考えます。学生の場合は、親の考え方等で学習環境が整わないケースもあるとき、その学生がやる気を出したら、学習できる環境を提供することは、平等に学習できる環境を提供するという点においても非常に重要だと考えます。まずは、空きスペースの調査等からでも、将来におけるの検討という形でも一考いただきたいと思えます。

(回答)

図書館（本館）では、学習や打ち合わせ、読書等、自由に使っていただける場所としてフリースペースを設置しています。

各施設の空きスペースについては、施設管理者においてその有無を把握しており、施設の利用状況を考慮した上で、学習スペースとして利用可能か判断します。

(継続) 【所管部：教育委員会・総務部】

人口が増えることが継続的な発展につながります。そのためには、子育てがしやすい街にすることが重要だと考えます。駐車場の併設された公園に、子供が楽しめる遊具があれば子育てに寄与すると考えます。まずは、現状、野洲市の遊具の利用率を他市、近隣の整備された公園と比較調査を行っていただきたいです。そして、利

用率の高い遊具について、効果が見込める確認ができるのであれば、設置を検討いただきたいです。

(回答)

本年 11 月定例会に議案として上程している「野洲市みどりの基本条例」に基づき、令和 2 年度を目途に「(仮称)野洲市みどりの基本計画」の策定を予定しています。

策定検討にあたっては、学識経験者、自治連合会の代表、市民活動団体の代表、公募による市民等からなる検討委員会を設置し、都市公園について検討することとしており、遊具の設置についても、その中で検討していきます。

【所管部：都市建設部】

自動車交通量が多い道路の拡幅整備を行っていく予算を要望します。そのために、まず交通量と道路の幅に関する基本的な調査、整備すべき優先順位を調べていく必要があると考えます。例えば山出、バス停先等、カーブを伴うために、実際以上に狭い印象となります。

(回答)

道路整備については、優先度を設定して進めています。

【所管部：都市建設部】

地域の道路をすっきりさせ気持ちよく暮らせる街にすることもまた、大切だと考えます。交通量が少なく、道路の張替え予算化に至らない、ひび割れた道路を、補修する手法、予算化を検討いただきたいです。

(回答)

本市における舗装工事については、緊急性の度合いや交通量等を基準に優先度を設定し実施しております。道路の張替え予算化に至らない、ひび割れた道路における穴等については、常温合材にて補修対応を実施しています。

【所管部：都市建設部】

地域の避難所の充実を行う予算を要望します。今コミセンがありますが、広い地域をカバーするためのミニコミセン等、昨今の自然災害から、それに備えることの重要性が再認識されます。例えば近江富士は、保育園、幼稚園の削減により公共施設が少なくなります。

(回答)

近年、地震、大型台風の襲来、集中豪雨など自然災害の頻度と強度が高まっていることから、市内企業に対して災害時の緊急避難場所の提供などを定めた災害時応援協定の依頼・協議を進めています。近江富士団地に近い三上工業団地の企業の協力を得て、3社と災害時、緊急避難場所の提供をいただく災害時応援協定を締結し、避難所を確保できることになりました。今後も災害時応援協定等により指定避難所を補完していきたいと考えています。

【所管部：市民部】

